平成30年6月 斐伊川水系水質情報

平成30年6月(宍道湖: 4日·中海: 19日採水) 単位:mg/l(Chl-a: μg/l								hl−a: <i>μ</i> g/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米 -	子湾中	·央部
COD	全層	3. 4	Δ	やや低い	3. 5	Δ	平年並み	4. 2	Δ	平年並み
全窒素	上層	0. 33	0	良 好	0. 40	0	良好(平年並み)	0. 49	Δ	平年並み
全リン	上層	0. 025	0	良好(平年並み)	0. 038	Δ	平年並み	0. 054	Δ	平年並み
Chl-a	上層	9. 7	Δ	平年並み	6. 9	Δ	平年並み	9. 8	Δ	平年並み
塩化物	上層	1, 640	Δ	平年並み	7, 880	Δ	平年並み	10, 300	Δ	平年並み
イオン	下層	1, 850	Δ	平年並み	16, 600	Δ	平年並み	11, 900	Δ	平年並み
溶 存	上層	9. 4		平年並み	9. 8		平年並み	9. 7		平年並み
酸素	下層	6. 3		やや低い	4. 9		平年並み	8. 9		平年並み

前月との	<mark>竹月との比較</mark> 宍道湖湖心		FI FI	海湖心	米子湾中央部		
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4. 4	やや下降	3. 0	やや上昇	4. 3	横ばい
全窒素	上層	0. 41	やや下降	0. 36	横ばい	0. 49	横ばい
全リン	上層	0. 055	やや下降	0. 041	横ばい	0. 056	横ばい

央道湖の透明度は0.9mから1.8mに上昇し、良好。中海の透明度は1.5mから2.1mに 上昇。米子湾の透明度は1.1mから1.8mに上昇した。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	*	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の3倍	1	*	<かなり高い>
平均値+標準偏差値の2倍	\downarrow	×	<やや高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値		Δ	<平年並み>
平均値-標準偏差値	<u> </u>		ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	\bigcirc	0	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <u><やや低い> (塩化物イオン)</u>
平均値-標準偏差値の3倍	\downarrow	0	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化····・ 上昇、下降 前月値士標準偏差値の 1/2 以上、以下の変化・・やや上昇、やや下降、横ばい 平均値土標準偏差値の2倍・・全体のおよそ95.5% 前月値±標準偏差値の 1/2 以内の変化・・横ばい

注) 平均値 ± 標準偏差値 ・・・・・全体のおよそ 68.2% 平均値±標準偏差値の3倍・全体のおよそ99.7%